



おにぎり通信

2011年3月26日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

東北地方から関東にかけて大地震がありました。私たちの活動も地震の影響を受けて、12日土曜日にはみなさんのところに訪問できませんでした。19日に訪問したときに、「先週は訪問できないで申し訳ありませんでした」とお詫びしましたら、多くのかたがたから、「仕方がないよ」「無理なものは無理なんだから」と温かい言葉をかけていただきました。とても励みになることばでした。その一方で、13日日曜日朝に日比谷公園で亡くなった方がいることを、おにぎりを待っていた方からうかがいました。12日に訪問できたらと思うと……。その方の顔が思い浮かびます。ご冥福を祈ります。



☆ 福祉行動報告 3/7 Aさん(64歳)左足痛のため歩行困難。冬期枠で寮を希望されましたが終了したため、とりあえず病院に向かわれました。9日水曜日に港寮入寮のため、再度、千代田福祉事務所を訪れることになりました。

3月14日は千代田福祉事務所は開店休業状態だったようです。

次回の福祉行動：3月28日(月)、東京駅丸の内北口に朝8時30分まで

に集合です。「東京駅丸の内北口」と書いてある看板の下、丸の内警察署

東京駅交番近く『びゅうプラザ前』

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所ま

で、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行

います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の

言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ぶくしじむしょ
最寄の福祉事務所

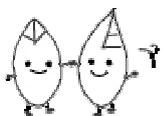
ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

せんじつ よ や なかま きょうさん ひんこんげんば もんだい
先日、四ッ谷おにぎり仲間も協賛して「貧困現場から問題をみつめて」とい
ゆあさまこと こうえんかい じかんちか こうえん
う湯浅誠さんの講演会がひらかれました。2時間近い講演でしたので、すべて
しょうかい ゆあさ きょうちょう わたし しゃかい た
を紹介しきれませんが、湯浅さんが強調されたのは私たちの社会に「溜め」を
つくるということでした。

た いけ じんこう いけ みず たくわ ひつよう
溜め池というものがあります。人工の池に水を貯えておき、必要なときに
こうさくち そうすい きせつ すいりょう へんか かんぱつ きしょうへんどう
耕作地へ送水することで、季節ごとの水量の変化や旱魃などの気象変動によ
えいきょう おさ のうさくぶつ あんてい さいばい
る影響を抑え、農作物を安定して栽培することができるようにするためのも
のです。もし、あめ すく ちいき た いけ がんば し き
れば成長できるはずだ」と叱咤してみても、稲が育つはずはありません。日
ほん しゃかい きぎょう しゅうしんこようせいど かにい ふた た いけ
本の社会もかつては、企業の終身雇用制度と家庭という二つの溜め池があり
びょうき きゅうぎょうほしやう りしょく こようほけん
ました。病気になっても休業補償がありましたし、離職しても雇用保険の
じゆきゅう かぞく ささ にほん
受給ができましたし、家族の支えもありました。しかし、いまの日本では、
ひせいきこよう ふ ささ たんしんせいかつ ひと ふ
非正規雇用が増えてそうした支えがなくなり、単身生活の人も増えています。

ひと しゅうにゆうじゅうきよ うしな だい お
そうした人たちが収入や住居を失うと「すべり台」をすべり落ちるように
たちまち生活困難に直面するようになっていきます。そんなときに がんば
どうにかなる」と尻を叩いてみても、水がない水田の稲に「成長しろ」と叱
しり たた みず すいでん いね せいちょう しつ
咤するのと同じで状況は改善しません。一人一人が生き抜こうとする活動に
た おな じょうきょう かいぜん ひとりひとり いぬ かつどう
は限界がある、社会に「傘をさす」「場をつくる」「溜めをつくる」ことが必
げんかい しゃかい かさ ば た ひつ
要だ、傘の内と外に断崖をつくってはいけない、人間関係においても経済関
よう かさ うち そと だんがい じんげんかんけい けいざいかん
係においても「溜め」のある社会にしていかなければ、傘の外だけでなく内
けい た しゃかい かさ そと うち
にいる人も立ちゆかなくなることを、湯浅さんは何度も強調されていました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
ばこ い かたづ きょうりよく ねが
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。

四ッ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田